

事例 No.	19	人口規模	30万人以上	地域ブロック	中国	事業タイプ	情報提供・啓発	事業主体	地方公共団体
事業名	向こう三軒両隣子育て応援事業								
実施地方公共団体名	岡山市(岡山県)								
特徴・ポイント	応募条件が 概ね3人以上のグループ、1年以上活動を継続、政治的・宗教的・営利目的を伴っていないことと広く門を広げている。								
事業のねらいと内容	<p>【ねらい】 都市化や核家族化が進み、地域での子育て力が弱まってきている中、地域での子育てを応援する気運を高めていく。</p> <p>【内容】 概ね、3人以上の地域での子育てグループに応募いただき、審査により優秀なグループに感謝状と奨励金(3万円)を贈呈し、地域での子育てを応援する気運を高める。</p>								
導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)	<p>全体としては地域における人間関係は薄らいでいるが、身近なところで子育て支援、助け合いを地道に続けているグループもあり、そうした取組に光をあて、規模の大小を問わず、全市的に広げていくことが、地域で安心して子育てをするために必要である。</p>				<p>導入・実施に際して苦労した点</p> <p>地域の小さなグループも気軽に申し込めるよう、申込書をできるだけ簡易なものにした。一方、活動が現実に存在しているという確認として地域の状況に詳しく住民の身近な相談相手である民生委員、児童委員に申込の受付窓口をお願いした。申込の審査は、多彩な取組を簡易な申込書から審査する困難さがあるため、審査の指標を作成し、また審査の透明性を確保するため、審査会に市職員だけでなく外部委員を迎えた。</p>				
事業の効果	<p>表彰することにより、益々やる気を出すグループ、当事業をきっかけに新設されたグループなどがあり、地域での子育てを応援する気運の高まり、広がりを感じている。</p>								
事業のアピールをどのように行ったか	<p>市の通常の広報と、各地区の民生委員協議会を回り、地域での活動グループの拾い上げや周知をお願いした。</p>								
必要な協力先・実施主体とその確保策	<p>(必要な協力先) 民生委員・児童委員、主任児童委員</p>								
概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算	1,199千円				問い合わせ先		<p>所属部署:保健福祉局 こども福祉課 TEL:086-803-1221 FAX:086-225-4441</p>		